

研究計画概要

助成年度・種別	2016年度 若手研究助成
研究者	山脇望美
所属	名古屋大学大学院
研究テーマ	自閉症スペクトラム傾向における粗暴行為の発生機序：失感情症と攻撃性に着目して
研究計画概要	<p>粗暴行為を行った非行少年が後に自閉症スペクトラム傾向の診断を受けるケースが増加している。そのため、粗暴行為の発生には、自閉症スペクトラム傾向が影響しているとの論説がある。しかし、自閉症スペクトラム傾向は、失感情症や攻撃性と強く関連するものの、現時点において、粗暴行為との因果関係は明らかでない。</p> <p>そこで、本研究では、少年院に入所している非行少年を対象として、自閉症スペクトラム傾向に該当する少年の粗暴行為の発生メカニズムについて、該当しない少年との比較により検討する。この検討は、自閉症スペクトラム傾向が単独で粗暴行為に影響をおよぼすのか、あるいは失感情症や攻撃性との相互作用により粗暴行為に影響をおよぼすのかを明らかにする。</p> <p>本研究は、自閉症スペクトラム傾向における粗暴行為の発生機序を、失感情症や攻撃性を包括したモデルにより明らかにし、この結果に基づいて、粗暴行為を低減させる効果的な心理教育プログラムを提案する。</p> <p>特定の発達的特徴が診断された非行少年への対応は急務であるため、本研究の成果は今後の矯正教育に資するといえる。</p>
選考委員からのコメント	<p>調査の目的・方法がシンプルでかつ明確である。あとは調査実現の具体的可能性であるが、それも少年院職員等5名の協力者がいるということで、可能性は高い。また、日本認知心理学会第10回大会にて優秀発表賞を受賞しているということも評価し得る。</p>